

## Indonesia Weekly

2019年11月25日

(対象期間：2019/11/18～2019/11/22)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移  
(2016年1月4日～2019年11月22日)

## 【株式市場】

インドネシアの株式市場は下落しました。週の前半は、21日の金融政策決定会合を前に様子見となりました。マレーシアのパーム油の在庫の減少などを背景にパーム油価格が上昇したことを好感して、プランテーション株が先週に引き続き堅調となりました。インドネシア中央銀行(BI)は21日、政策金利の据え置きを決定した一方で、銀行の預金準備率を0.5%引き下げました。

2019/11/15	2019/11/22	変化率
6,128.35	6,100.24	-0.46%

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移  
(2016年1月1日～2019年11月22日)

## 【債券市場】

インドネシア10年国債利回りは上昇(価格は下落)しました。週の前半は、火曜日の国債入札を前に小動きとなりました。入札結果は好調となりましたが、その後、米中協議の先行き不透明感などを背景に、通貨ルピアが弱含みとなったことなどを背景に利益確定売りに押され、下落しました。21日、BIは政策金利の据え置きを発表しましたが、債券市場への影響は限定的でした。

2019/11/15	2019/11/22	変化幅
7.029	7.071	+0.042

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移  
(2016年1月1日～2019年11月22日)

## 【為替市場】

ルピアは対米ドル、対円ともに下落しました。週の前半は小動きとなりましたが、中国政府が米国との通商協議に対し悲観的と報じられると、リスクオフが優勢となりルピアは下落しました。その後も、米中関連のニュースに左右される動きとなり、狭い値幅の中で上値の重い展開となりました。

2019/11/15	2019/11/22	変化率
0.7719	0.7696	-0.30%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保障するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。